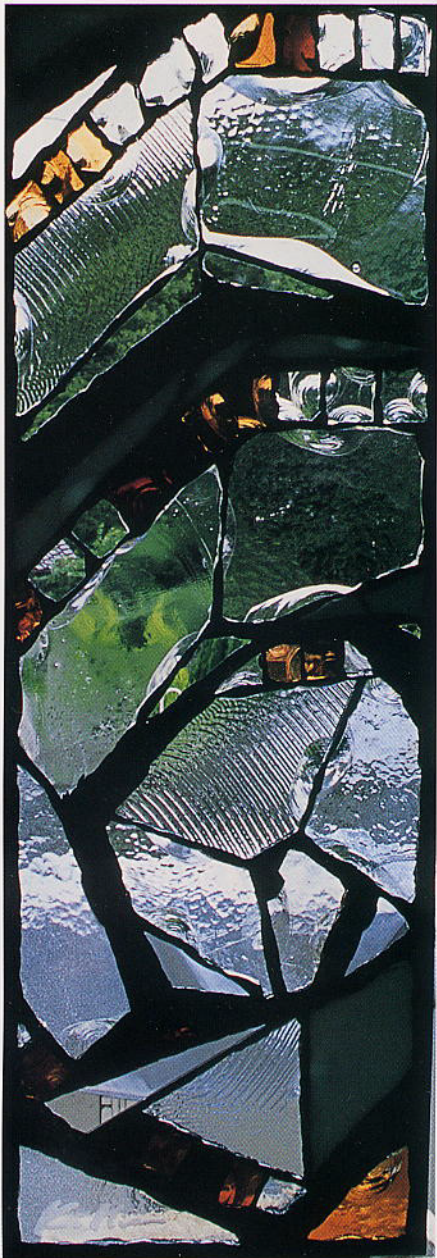




ニール・バルウィッツ (南アフリカ) 600×1600



三浦啓子 (日本) 450×1300

STAINED GLASS

輝きと感動を与える、光のシンフォニー。

カトリック教会のガラス窓の装飾として発達したステンドグラス。

古代よりガラスは装飾品として、また、日常生活に必要な実用品として使われてきました。19世紀から20世紀にかけてアール・ヌーヴォー、アール・デコが広がりを見せるなか、エミール・ガレ、L・C・ティファニーなどが、ガラスを鑑賞用の工芸作品として作るようになりました。20世紀になると、シャガール、マティス、ブラックなどが自分の作品の表現手段としてステンドグラスを用い、素材・技法なども多様化していきます。

2002年に続き、2回目の開催となる本展は、2005年に愛知県で開催される「愛・地球博」(愛知万博)のパートナーシップ事業であり、国内で類を見ない全国規模の公募展です。

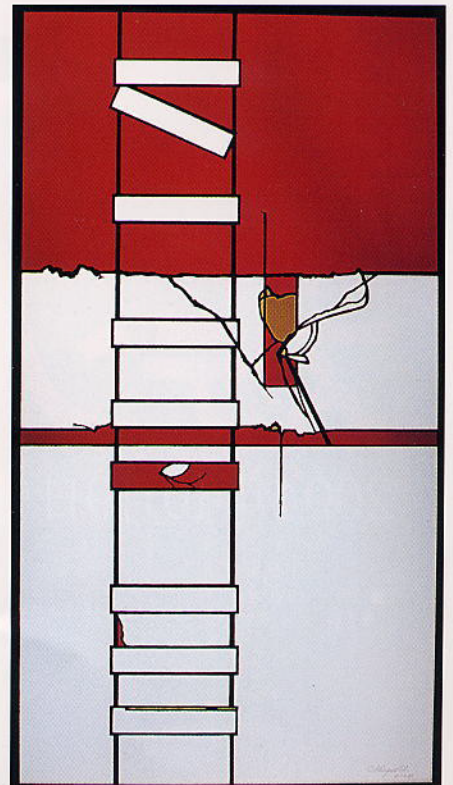
全国から公募したステンドグラスの優秀作品に国内外からの招待作家作品を加え、合わせて200余点を展示します。

- 審査員 神谷 浩 (名古屋市美術館学芸課長)
久野勝利 (ステンドグラス美術展実行委員会副委員長)
佐藤新平 (ガラス造形家)
三浦啓子 (ガラスアーティスト)
森岡完介 (版画家)
ディビッド・ワグナー (DERIX GLASSTUDIOS)
大口智宴子 ((株)十條 代表取締役社長)
(順不同 敬称略)

- 表彰 最優秀賞 1点
●プロ部門 優秀賞 2点
奨励賞 若干名
●アマチュア部門 優秀賞 2点
奨励賞 若干名



アデリーオ・サロー (ブラジル) 700×1350



佐藤新平 (日本) 500×900



Matsuzakaya

松坂屋・本店

TEL:052-251-1111